

「おそろしい土砂災害」

鹿児島県 鹿児島市立玉江小学校 4年 末永<sup>すえなが</sup> 諒馬<sup>りょうま</sup>

ぼくは、土砂災害について建設会社をしているおじいちゃんに鹿児島は土砂災害がとて多<sup>おほい</sup>いところだと聞いたことがあります。

おじいちゃんの会社では、土砂災害などを防ぐ工<sup>こう</sup>事やくずれてしまった土砂などを片づけたりしているそうです。

「土砂災害を防ぐ工<sup>こう</sup>事ってどんな工<sup>こう</sup>事。」

と、おじいちゃんに聞くと、

「垂直になつてくずれそうな山を斜めに切つて、そこにコンクリートをぬってあげる工<sup>こう</sup>事だよ。」

と、教えてくれました。そうすることで強い山になりくずれにくくなるそうです。

その他にも土砂災害には土石流、がけくずれ、地すべりの3種類があるそうです。川がにごったり、小石がパラパラと落ちてくる時は、そういった災害の前ぶれだそうです。そういった災害を防ぐために工<sup>こう</sup>事をする<sup>する</sup>ことで土砂災害をなくして、安全な町づくりをしているということでした。

お母さんとインターネットを使って「土砂災害」について調べてみました。

すると鹿児島はシラス台地といって、雨がたくさん降ると土砂くずれが起<sup>おこ</sup>りやすい土質だということが分かりました。いろんな基準が他の県と比べてきびしいということでした。

また、鹿児島で有名な桜島は土石流が多く発生する山だということです。インターネットで桜島の土石流の動画を見ましたが、大きな岩が土石流と一緒にものすごい勢いで流れていきました。桜島に住んでいる人たちはすごくこわいだろうなあと思いました。ぼくは桜島がぼく発して降<sup>ふ</sup>ってくる灰の粒でさえいやだと思<sup>おも</sup>うのに、その人たちはぼくたちよりも大きな粒や音になやまされ、土石流がこないか心配でいるのだろうと思<sup>おも</sup>いました。

地すべりのえい像も見ましたが、山がだるま落としみたいにズドンと落ちてくる感じでした。電柱や道路があつという間に無くなってとてもこわかったです。すさまじい破<sup>やぶ</sup>かい力をもつ土砂は、一しゅんにして人の命や住宅すべてのものをうばってしまう本当におそろしい災害なんだと思<sup>おも</sup>いました。

よくニュースでがけくずれなどの写真や映像は見ますが、なかなか実際にそうぐうしたり、見たりすることはありません。実際にその場にいたら自分はどうなるんだろうと思<sup>おも</sup>うだけで、こわいです。

全国にもこのようなこわい経験をした人がたくさんいるんだろうなと思<sup>おも</sup>ってお母さんと、

「ぼくが住んでいる町は、今はそのような災害がなくてよかったね。」

と話しました。でも、つい最近の台風で山のあちらこちらがくずれていて、道路に大きい木がたおれ、電線に木がおれてさがっていたり、大きな岩が転がっていたり、土砂が道をふさいでいたりして、とても通りにくくなっていました。そういった場所の山をよく見てみるとおじいちゃんが教えてくれたような工<sup>こう</sup>事をしていない所<sup>ところ</sup>がくずれていました。工<sup>こう</sup>事をしてい<sup>いる</sup>所<sup>ところ</sup>は同じような場所でもくずれていませんでした。

ぼくは、おじいちゃんが言ったとおり工<sup>こう</sup>事が終わった所<sup>ところ</sup>は、本当に山が強くなったんだなと思<sup>おも</sup>いました。

ぼくたち子供は、工<sup>こう</sup>事は出来ない<sup>できない</sup>のでふだんから山や川を見たり、音を聞いたりして、水のごりや水の量、山の音、山からの水に注意していきな<sup>い</sup>いと思<sup>おも</sup>います。

土砂災害から身を守るために、一人一人が周囲を確認し、情報に注意して、早めにひなんすることが大事だと勉強しておくべきだと思<sup>おも</sup>いました。これから先ひなん訓練などある時は積極的に参加したいと思<sup>おも</sup>います。